

令和5年度 第1学年 数学科 年間指導計画

月	題材名	時数	目標	学習指導要領	観点別学習状況の評価規準	評価方法
4月	0章 算数から数学へ ①整数の性質・九九のきまりを見つけよう	1	九九表の数の並びから、いろいろなきまりを見だし、説明することができる。	A (1) イ	九九表の数の並びから、いろいろなきまりを見だし、説明することができる。	ノート 発表 テスト
	・整数の性質	2	自然数をいくつかの数の積で表すことよさや素因数分解の意味を理解する。 素因数分解の一意性を理解し、自然数を素因数分解することができる。	A (1) ア	素因数分解の一意性を理解し、自然数を素因数分解することができる。	ノート テスト
				主体的に学習に取り組む態度	自然数をいくつかの数の積で表すことにより、整数の性質を見いだそうとしている。	ノート 発表 テスト
	1章 正負の数 ①正負の数 1符号のついた数	2	正負の数の必要性と意味を理解する。 反対の性質をもつ量や基準とのちがいを、正負の数を用いて表すことができる。	A (1) ア	反対の性質をもつ量や基準とのちがいを、正負の数を使って表したり、正負の数で表された数量の意味を読み取ったりすることができる。	ノート テスト
				主体的に学習に取り組む態度	正負の数の必要性と意味を考えようとしている。	ノート 発表 テスト
	2数の大小	2	正負の数を数直線上に表すことができる。また、数直線を使って正負の数の大小を考え、その関係を不等号を使って表すことができる。 絶対値の意味を理解し、絶対値をもとにして正負の数の大小を考え、その関係を不等号を使って表すことができる。	A (1) ア	数直線上の位置と正負の数の大小の関係、絶対値の意味を理解し、それらをもとにして正負の数の大小を考え、その関係を不等号を使って表すことができる。	ノート テスト
				主体的に学習に取り組む態度	正負の数の大小関係を考えようとしている。	ノート 発表 テスト
	②加法と減法 1加法	3	正負の数の加法の意味を理解し、東西の移動をもとにして考えることができる。 正負の数の加法の計算ができる。 正負の数では、加法の交換法則と結合法則が成り立つことを理解し、いくつかの数の加法をくふうして計算することができる。	A (1) ア	正負の数の加法の計算方法を理解し、計算ができる。正負の数では加法の交換法則と結合法則が成り立つことを理解し、いくつかの数の加法をくふうして計算できる。	ノート テスト
				A (1) イ	正負の数の加法を、東西の移動をもとにして考え、説明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	正負の数の加法の計算方法を考えようとしている。	ノート 発表 テスト
2減法	2	正負の数の減法の意味を理解する。 正負の数の減法を、加法になおして計算することができる。	A (1) ア	正負の数の減法の意味を理解している。 正負の数の減法の計算方法を理解し、計算ができる。	ノート テスト	
			A (1) イ	算数で学習したひき算と関連づけて、正負の数の減法を、数直線を使って考え、説明することができる。	ノート 発表 テスト	
			主体的に学習に取り組む態度	正負の数の減法の計算方法を考えようとしている。	ノート 発表 テスト	
3加法と減法の混じった計算	2	正負の数の加法と減法の混じった式を、項の和とみることができる。 正負の数の加法と減法の混じった式の計算ができる。	A (1) ア	正負の数の加法と減法の混じった式の計算方法を理解し、計算ができる。	ノート テスト	
			A (1) イ	正負の数の加法と減法の混じった式を、項の和とみることができる。	ノート 発表 テスト	
			主体的に学習に取り組む態度	正負の数の加法と減法の混じった式の計算の方法を考えようとしている。	ノート 発表 テスト	
基本の問題	1				ノート	
5月	③乗法と除法 1乗法	4	正負の数の乗法の意味を理解し、東西の移動をもとにして考えることができる。 正負の数の乗法の計算ができる。 正負の数で、乗法の交換法則と結合法則が成り立つことを理解し、いくつかの数の乗法をくふうして計算することができる。 累乗の意味を理解し、正負の数の累乗の計算ができる。	A (1) ア	正負の数の乗法の計算方法を理解し、計算ができる。 正負の数では乗法の交換法則と結合法則が成り立つことを理解し、いくつかの数の乗法をくふうして計算できる。 累乗の意味を理解し、正負の数の累乗の計算ができる。	ノート テスト
				A (1) イ	正負の数の乗法を、東西の移動をもとにして考え、説明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	正負の数の乗法の計算方法を考えようとしている。	ノート 発表 テスト
	2除法	2	正負の数の除法を、乗法の逆算をもとにして考え、正負の数の除法の計算ができる。 正負の数の除法を、逆数を使って乗法になおして計算することができる。	A (1) ア	正負の数の除法は、わる数の逆数をかけることと同じであることを理解し、逆数を使って乗法になおして計算できる。	ノート テスト
				A (1) イ	除法を乗法の逆算とみて、正負の数の除法の計算方法を考え、説明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	正負の数の除法の計算方法を考えようとしている。	ノート 発表 テスト
	3四則の混じった計算	2	正負の数の四則の混じった計算ができる。 正負の数の分配法則を利用した計算ができる。	A (1) ア	正負の数の四則の混じった式の計算順序を理解し、計算ができる。 正負の数では分配法則が成り立つことを理解し、分配法則を利用した計算ができる。	ノート テスト
				主体的に学習に取り組む態度	正負の数の四則の混じった計算の計算方法を考えようとしている。	ノート 発表 テスト
	4数の範囲と四則	1	数の範囲と四則計算の可能性について調べ、その関係を考えることができる。	A (1) イ	数の集合と四則計算の可能性について捉え直すことができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	数の範囲と四則計算の可能性の関係を調べようとしている。	ノート 発表 テスト

6月	基本の問題	1				ノート
	④正負の数の利用 身長の平均をくふうして求めてみよう 1 正負の数の利用	2	正負の数を利用して、身長を平均をくふうして求める方法を考え、説明することができる。 身のまわりの問題を、正負の数を利用して解決することができる。	A (1) ア	具体的な場面で正負の数を使って表したり処理したりすることができる。	ノート テスト
				A (1) イ	正負の数を利用して、身長を平均をくふうして求める方法を考え、説明することができる。 身のまわりの問題を、正負の数を利用して解決することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	正負の数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 正負の数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	ノート 発表 テスト
	章の問題	1				ノート
	2章 文字と式 ①文字を使った式 1文字の使用	3	正方形をつなげた棒の本数の求め方を自分なりの方法で考え、式や図を使って説明することができる。 文字を用いることの必要性和意味を理解し、具体的な数量を、文字を使った式で表すことができる。	A (2) ア	具体的な数量を、文字を使った式で表すことができる。	ノート テスト
				A (2) イ	正方形をつなげた棒の本数の求め方を考え、式や図を使って説明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	正方形をつなげた棒の本数の求め方を考えようとしている。 文字を用いることの必要性和意味を考えようとしている。	ノート 発表 テスト
	2文字を使った式の表し方	4	文字式での積の表し方にしがつて、式を表すことができる。 文字式での累乗や商の表し方にしがつて、式を表すことができる。 単位の異なる数量どうしの和や差を、単位をそろえた式に表すことができる。また、割合や速さに関する数量を、文字を使った式で表すことができる。 π の意味を理解し、円周の長さや円の面積を、文字を使った式で表すことができる。また、文字を使った式が表す数量を、読み取ることができる。	A (2) ア	文字式での積の表し方のきまりを理解し、文字式での積の表し方にしがつて式を表すことができる。 文字式での累乗の表し方のきまりや商の表し方のきまりを理解し、累乗の表し方や商の表し方にしがつて式を表すことができる。 単位の異なる数量どうしの和や差の表し方を理解し、単位をそろえた式に表すことができる。 割合や速さに関する数量を、文字を使った式で表すことができる。 π の意味と π を使った式の表し方のきまりを理解し、文字を使った式で表すことができる。 文字を使った式が表す数量を、読み取ることができる。	ノート テスト
					主体的に学習に取り組む態度	文字を用いることの必要性和意味を考えようとしている。
3代入と式の値					1	文字に数を代入することや式の値の意味を理解し、式の値を求めることができる。
基本の問題	1				ノート	
②文字式の計算 1 1次式の計算	5	棒の本数を求める式から、その求め方を読み取って、図を使って説明することができる。 項と係数の意味を理解し、文字の部分が同じ項を1つの項にまとめることができる。 1次式の加法や減法の計算ができる。 1次式と数の乗法の計算ができる。 1次式と数の除法の計算ができる。また、1次式のいろいろな計算ができる。	A (2) ア	項と係数の意味を理解している。文字の部分が同じ項を1つの項にまとめることができる。 1次式の加法や減法の計算方法を理解し、計算ができる。 1次式と数の乗法・除法の計算方法を理解し、計算ができる。	ノート テスト	
			A (2) イ	棒の本数を求める式から、その求め方を読み取り、図を使って説明することができる。 具体的な場面で関連づけて、1次式の加法・減法の計算方法を考え、説明することができる。	ノート 発表 テスト	
			主体的に学習に取り組む態度	棒の本数を求める式から、その求め方を読み取って説明しようとしている。 1次式の計算方法を考えようとしている。	ノート 発表 テスト	
基本の問題	1				ノート	
③文字式の利用 1数の表し方	3	文字を用いた式を活用して、立方体をつなげた棒の本数を求める式を考え、その求め方を説明することができる。 いろいろな整数を文字を用いた式で表したり、式が表す数を読み取ったりすることができる。	A (2) ア	いろいろな整数を文字を用いた式で表したり、式が表す数を読み取ったりすることができる。	ノート テスト	
			A (2) イ	立方体をつなげた棒の本数の求め方を、正方形をつなげた棒の本数の求め方と関連づけて考え、式や図を使って表現することができる。	ノート 発表 テスト	
			主体的に学習に取り組む態度	文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	ノート 発表 テスト	
2数量の間の関係の表し方	1	等式、不等式の意味を理解し、数量の間の関係を等式や不等式で表したり、等式や不等式が表す数量の関係を読み取ったりすることができる。	A (2) ア	等式と不等式の意味を理解し、数量の間の関係を等式や不等式で表すことができる。 等式や不等式が表す数量の間の関係を読み取ることができる。	ノート テスト	
			主体的に学習に取り組む態度	等式と不等式の必要性和意味を考えようとしている。	ノート 発表 テスト	
章の問題	1				ノート	
3章 方程式 ①方程式とその解き方 1方程式とその解	3	求めたい数量がある問題を、既習の内容を活用して解決することを通して、方程式の必要性を理解する。 方程式とその解の意味を理解し、文字に値を代入して方程式の解を求めることができる。	A (3) ア	方程式とその解の意味を理解している。 等式の性質を理解し、等式の性質を使って方程式を解くことができる。	ノート テスト	
			A (3) イ	求めたい数量がある問題を、既習の内容を活用して考え、式や図を使って説明することができる。 方程式を解く方法を、てんびんの操作と結びつけて考え、説明することができる。	ノート 発表 テスト	
9月						

		等式の性質を使って、方程式を解くことができる。	主体的に学習に取り組む態度	方程式の必要性和意味を考えようとしている。	ノート 発表 テスト	
9月	2方程式の解き方	4 移項の意味を理解し、移項の考えを使って方程式を解くことができる。 かっこをふくむ方程式や、係数に小数をふくむ方程式を解くことができる。 係数に分数をふくむ方程式を解くことができる。また、1次方程式を解く手順を理解する。	A (3) ア	移項の意味を理解し、移項の考えを使って方程式を解くことができる。移項の考えを使って方程式を解く手順を理解している。 かっこをふくむ方程式、係数に小数や分数をふくむ方程式の解き方を理解し、その方程式を解くことができる。 1次方程式を解く手順を理解している。	ノート テスト	
			A (3) イ	等式の性質を使って方程式を解く過程を振り返って、移項の考えを見だし、説明することができる。	ノート 発表 テスト	
		主体的に学習に取り組む態度	方程式を効率的に解く方法を考えようとしている。	ノート 発表 テスト		
	基本の問題	1			ノート	
	②1次方程式の利用 1次方程式の利用	4	具体的な問題を、方程式を利用して解決するときの考え方や手順を理解する。 個数と代金に関する問題を、方程式を利用して解決することができる。 過不足に関する問題を、方程式を利用して解決することができる。 速さ・時間・道のりに関する問題を、方程式を利用して解決することができる。また、求めた解が問題に適しているかどうかを考え、説明することができる。	A (3) ア	具体的な問題の中の数量やその関係に着目し、1次方程式をつくることができる。 方程式を利用して問題を解決するときの手順を理解している。	ノート テスト
				A (3) イ	1次方程式を利用して、具体的な問題を解決することができる。 求めた解が問題に適しているかどうかを、問題の場面に戻って考え、説明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	方程式を具体的な問題の解決に利用しようとしている。 方程式を活用した問題解決の過程を振り返ってその手順を検討しようとしている。	ノート 発表 テスト
	2比例式の利用	1	比例式の性質を理解し、その性質を利用して文字の値を求めたり、具体的な問題を解決したりすることができる。	A (3) ア	比例式の意味とその性質を理解し、比例式の性質を利用して文字の値を求めることができる。	ノート テスト
				A (3) イ	比例式の性質を利用して、具体的な問題を解決することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	比例式を具体的な問題の解決に利用しようとしている。	ノート 発表 テスト
基本の問題 章の問題	2			ノート		
4章 比例と反比例 ★ ①関数と比例・反比例 1関数	3	身のまわりの問題を、関数の考えを利用して解決することができる。 関数の意味及び変域の意味と表し方を理解し、変域を不等号を使って表すことができる。また、2つの数量の間に関数の関係があるかどうかを判断することができる。 身のまわりの問題を、関数の考えを利用して解決することができる。	C (1) ア	関数の意味を理解している。変域の意味と表し方を理解し、変域を不等号を使って表すことができる。2つの数量の間に関数の関係があるかどうかを判断することができる。	ノート テスト	
			C (1) イ	身のまわりの問題を、関数の考えを利用して解決することができる。	ノート 発表 テスト	
			主体的に学習に取り組む態度	関数の考えを生活や学習に生かそうとしている。 関数関係の意味や比例、反比例について考えようとしている。	ノート 発表 テスト	
2比例と反比例	1	比例の意味を理解し、比例の関係を式に表すことができる。また、反比例の意味を理解し、反比例の関係を式に表すことができる。	C (1) ア	比例や反比例の意味を理解し、比例や反比例の関係を式に表すことができる。	ノート テスト	
			主体的に学習に取り組む態度	関数の考えを生活や学習に生かそうとしている。 関数関係の意味や比例、反比例について考えようとしている。	ノート 発表 テスト	
基本の問題	1			ノート		
②比例の性質と調べ方 1比例の表と式	2	xの変域や比例定数を負の数にひろげても、比例の性質が成り立つことを理解する。 yがxに比例するとき、1組のx、yの値から、比例の式を求めることができる。	C (1) ア	xの変域や比例定数を負の数にひろげても、比例の性質が成り立つことを理解している。 yがxに比例するとき、1組のx、yの値から、yをxの式で表すことができる。	ノート テスト	
			主体的に学習に取り組む態度	数の範囲を負の数までひろげると比例の性質やグラフの特徴がどうなるかやその調べ方を考えようとしている。	ノート 発表 テスト	
10月	2比例のグラフ	4 座標の意味や点の位置の表し方を理解し、点の座標を求めたり、座標を平面上の点で表したりすることができる。 比例のグラフは、その式をみたす点の集合であり、原点を通る1つの直線であることを理解する。また、比例のグラフの特徴を理解する。 比例について、xの値が増加するときのyの値の変化の特徴を理解する。また、比例のグラフの特徴をもとに、グラフをかくことができる。	C (1) ア	座標の意味や点の位置の表し方を理解している。 点の座標を求めたり、座標を平面上の点で表したりすることができる。 比例について、xの値が増加するときのyの値の変化の特徴を理解している。比例のグラフの特徴をもとに、グラフをかくことができる。	ノート テスト	
			C (1) イ	比例のグラフの特徴を見だし、説明することができる。 比例について、xの値が増加するときのyの値の変化の特徴を、表やグラフを用いて捉え、説明することができる。	ノート 発表 テスト	
	主体的に学習に取り組む態度	変域や比例定数を負の数にひろげても、比例のグラフの特徴を捉えようとしている。 比例の値の変化の特徴を、表やグラフを用いて捉えようとしている。	ノート 発表 テスト			
	3比例の表、式、グラフ	1	比例の表、式、グラフを関連づけて理解する。また、比例のグラフから式を求めることができる。	A (1) エ	比例のグラフから式を求めることができる。	ノート テスト
C (1) イ				比例の表やグラフから式を求める方法を考え、説明することができる。	ノート 発表 テスト	
主体的に学習に取り組む態度	比例について学んだことを生かして、比例の表、式、グラフを関連づけて捉えようとしている。	ノート 発表 テスト				
基本の問題	1			ノート		

	③反比例の性質と調べ方 1 反比例の表と式	2	xの変域や比例定数を負の数にひろげても、反比例の性質が成り立つことを理解する。 yがxに反比例するとき、1組のx, yの値から、反比例の式を求めることができる。	C (1) ア	xの変域や比例定数を負の数にひろげても、反比例の性質が成り立つことを理解している。yがxに反比例するとき、1組のx, yの値から、反比例の式を求めることができる。	ノート テスト
				主体的に学習に取り組む態度	数の範囲を負の数までひろげると反比例の性質やグラフの特徴がどうなるかやその調べ方を考えようとしている。	ノート 発表 テスト
11月	2 反比例のグラフ	3	反比例のグラフは、その式をみたす点の集合であり、なめらかな2つの曲線であることを理解する。 反比例のグラフの特徴を理解する。また、反比例のグラフをかくことができる。 反比例の値の変化の特徴を理解する。	C (1) ア	反比例のグラフは、式をみたす点の集合であり、なめらかな2つの曲線であることを理解し、グラフをかくことができる。 反比例のグラフの特徴を理解している。	ノート テスト
				C (1) イ	反比例について、xの値が増加するときのyの値の変化の特徴を、表やグラフを用いて捉え、説明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	変域や比例定数を負の数にひろげて、反比例のグラフの特徴を捉えようとしている。 反比例の値の変化の特徴を、表やグラフを用いて捉えようとしている。	ノート 発表 テスト
	3 反比例の表、式、グラフ	1	反比例の表、式、グラフを関連づけて理解する。また、反比例のグラフから式を求めることができる。	C (1) ア	反比例のグラフから式を求めることができる。	ノート テスト
				C (1) イ	反比例の表やグラフから式を求める方法を考え、説明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	反比例について学んだことを生かして、反比例の表、式、グラフを関連づけて捉えようとしている。	ノート 発表 テスト
	基本の問題					ノート
	④比例と反比例の利用 1 比例と反比例の利用	3	身のまわりの問題で、関数の関係にある数量を見だし、その関係を比例とみなして解決することができる。 身のまわりの問題を比例や反比例を利用して解決することができる。また、 $a=bc$ で表される関係において、それらの数量の間の関係を考えることができる。 身のまわりの問題を、比例のグラフを利用して解決することができる。	C (1) ア	具体的な事象で関数の関係にある数量を見だし、その関係を比例とみなして問題を解決することができる。 比例のグラフから、具体的な事象を読み取ることができる。	ノート テスト
				C (1) イ	具体的な事象の中の数量の関係が比例や反比例であることを見だし、問題を解決することができる。 $a=bc$ で表される関係において、それらの数量の間の関係を考察することができる。 具体的な事象の中の数量の関係を比例とみなして、そのグラフを利用して問題を解決することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	比例、反比例について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 比例、反比例を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	ノート 発表 テスト
章の問題	1				ノート	
5章 平面図形 ①図形の移動 1 図形の移動	6	しきつめ模様の特徴を図形の移動の見方で捉えたり、図形を移動させてしきつめ模様をつくったりすることができる。 平行移動・回転移動・対称移動の意味とその性質を理解する。 2つの合同な図形の関係を移動の見方で捉え、説明することができる。	B (1) ア	平行移動・回転移動・対称移動の意味とその性質を理解し、ある図形を平行移動・回転移動・対称移動させた図形をかくことができる。 平面図形に関する用語や記号の意味と使い方を理解している。	ノート テスト	
			B (1) イ	しきつめ模様の特徴を図形の移動の見方で捉えたり、図形を移動させてしきつめ模様をつくったりすることができる。 2つの合同な図形の関係を移動の見方で捉え、説明することができる。	ノート 発表 テスト	
			主体的に学習に取り組む態度	2つの合同な図形の関係を移動の見方で捉えようとしている。 図形の移動について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	ノート 発表 テスト	
基本の問題	1				ノート	
12月	②基本の作図 1 作図のしかた	2	作図における定規とコンパスの役割と使い方を理解し、簡単な作図ができる。	B (1) ア	作図における定規とコンパスの役割と使い方を理解し、簡単な作図ができる。円に関する用語や記号の意味と使い方を理解している。	ノート テスト
				B (1) イ	正六角形がかける理由を、コンパスの役割に着目して考え、説明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	定規とコンパスだけを使って、どんな図形がかけるかを考えようとしている。	ノート 発表 テスト
	2 基本の作図	4	基本的な作図の方法を考えるために、交わる2つの円の性質を理解する。 垂線を作図する方法を理解し、作図することができる。 線分の垂直二等分線を作図する方法を理解し、作図することができる。 角の二等分線を作図する方法を理解し、作図することができる。また、直線上の点を通り、その直線に垂直な直線を作図する方法を考え、説明することができる。	B (1) ア	交わる2つの円の性質を理解している。 垂線・線分の垂直二等分線・角の二等分線を作図する方法を理解し、作図することができる。 点と直線との距離、平行な2直線の距離の意味を理解している。 2点から等距離にある点は、線分の垂直二等分線上にあることを理解している。 角の2辺までの距離が等しい点は、その角の二等分線上にあることを理解している。	ノート テスト
				B (1) イ	交わる2つの円の性質を見だし、説明することができる。 直線上の点を通り、その直線に垂直な直線を作図する方法を考え、説明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	基本的な作図の方法を、線対称な図形の性質をもとにして考えようとしている。	ノート 発表 テスト

3 いろいろな作図	2	基本的な作図を利用して、円の接線やいろいろな条件をみたす図形を作図することができる。 基本的な作図を利用して75°の角を作図する方法を考え、式や図を使って説明することができる。	B (1) ア	円の接線、接点の意味と円の接線の性質を理解している。	ノート テスト
			B (1) イ	基本的な作図を利用して、円の接線やいろいろな条件をみたす図形を作図する方法を考え、説明することができる。 基本的な作図を利用して75°の角を作図する方法を考え、説明することができる。	ノート 発表 テスト
			主体的に学習に取り組む態度	作図について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 作図について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。基本的な作図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	ノート 発表 テスト
基本の問題	1				ノート
③おうぎ形 1 おうぎ形	2	身のまわりにあるものを円とみなして、その円を等分してできるおうぎ形に着目し、弧の長さや面積が中心角に比例することを理解する。 おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。	B (1) ア	おうぎ形の弧の長さや面積が中心角に比例することをもとにして、おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。	ノート テスト
			主体的に学習に取り組む態度	おうぎ形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	ノート 発表 テスト
章の問題	1				ノート
6章 空間図形 ①いろいろな立体 1 いろいろな立体	3	身のまわりにあるものから立体を見だし、それらの立体をいろいろな見方で分類することができる。 多面体の意味を理解する。また、角錐や円錐の意味とそれらの特徴を理解する。 正多面体の意味とその特徴を理解する。	B (2) ア	多面体の意味を理解している。角錐、円錐の意味とそれらの特徴を理解している。 正多面体の意味を理解している。正多面体の辺の数や頂点の数を求めることができる。	ノート テスト
			B (2) イ	正多面体の共通点やちがいを見だし、説明することができる。 立体をいろいろな見方で分類し、立体のどこに着目して分類したかを説明することができる。	ノート 発表 テスト
			主体的に学習に取り組む態度	空間図形の性質や関係を捉えることの必要性や意味を考えようとしている。	ノート 発表 テスト
②立体の見方と調べ方 1 直線や平面の位置関係	3	空間内にある平面が1つに決まる条件を理解する。 空間内にある平面と平面、平面と直線、直線と直線の位置関係を理解する。 空間内にある直線と平面の垂直、平面と平面のつくる角を理解する。	B (2) ア	空間内にある平面が1つに決まる条件を理解している。 空間内にある平面と平面・平面と直線・直線と直線の位置関係や交線・ねじれの位置の意味を理解している。 空間内にある直線と平面の垂直や平面と平面のつくる角、点と平面との距離、平面と平面との距離の意味を理解している。	ノート テスト
			B (2) イ	空間内にある平面が1つに決まる条件を、具体物を用いて考え、説明することができる。	ノート 発表 テスト
			主体的に学習に取り組む態度	空間図形の性質や関係を捉えることの必要性や意味を考えようとしている。	ノート 発表 テスト
2面の動き	1	角柱や円柱、円錐、球などを、平面図形の移動によってできた立体とみるることができる。	B (2) ア	母線、回転体の意味を理解している。平面図形の移動によってできる立体の見取図をかくことができる。	ノート 発表 テスト
			B (2) イ	空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えることができる。	ノート 発表 テスト
			主体的に学習に取り組む態度	空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えようとしている。	ノート 発表 テスト
3 立体の展開図	3	角柱、円柱の展開図とその特徴を理解する。 角錐、円錐の展開図とその特徴を理解する。 円錐の展開図で、側面になるおうぎ形の中心角を求め、展開図をかくことができる。	B (2) ア	角柱や円柱・角錐・円錐の展開図とその特徴を理解し、展開図をかくことができる。 角柱や円柱・角錐・円錐の側面について長さや中心角を求めることができる。	ノート テスト
			B (2) イ	立体を展開図に表して、面の実際の形や長さの関係を捉えることができる。 円錐の展開図で、側面になるおうぎ形の中心角を求める方法を考え、説明することができる。	ノート 発表 テスト
			主体的に学習に取り組む態度	空間図形を平面上に表現して、平面上の表現から空間図形の性質を見いだそうとしている。	ノート 発表 テスト
4 立体の投影図	1	投影図の意味を理解し、立体の投影図から、その立体を読み取ったり、投影図に立体のどの部分の実際の長さがあらわれるかを考え、説明したりすることができる。	B (2) ア	投影図の意味と立体の投影図のかき方を理解している。立体の投影図から、その立体を読み取ることができる。	ノート テスト
			B (2) イ	投影図に立体のどの部分の実際の長さがあらわれるかを考え、説明することができる。	ノート 発表 テスト
基本の問題	1				ノート
③立体の体積と表面積 1 体積	2	角柱や円柱の体積の求め方を理解し、それらを求めることができる。 角錐や円錐の体積の求め方を理解し、それらを求めることができる。	B (2) ア	角柱や円柱・角錐・円錐の体積の求め方を理解し、それらを求めることができる。	ノート テスト
			B (2) イ	角錐や円錐の体積を、底面積が等しく、高さが等しい角柱や円柱の体積と比べ、その求め方を考え、説明することができる。	ノート 発表 テスト
			主体的に学習に取り組む態度	立体図形の体積の求め方を考えようとしている。	ノート 発表 テスト
2 表面積	2	角柱や円柱、円錐の表面積の求め方を理解し、それらを求めることができる。	B (2) ア	角柱や円柱、円錐の表面積の求め方を理解し、それらを求めることができる。	ノート テスト
			B (2) イ	角柱や円柱、円錐の表面積の求め方を、展開図をもとにして考え、説明することができる。	ノート 発表 テスト
			主体的に学習に取り組む態度	立体図形の表面積の求め方を考えようとしている。	ノート 発表 テスト

3球の体積と表面積	1	球の体積や表面積の求め方を理解し、それらを求めることができる。	B(2)ア	球の体積や表面積の求め方を理解し、それらを求めることができる。	ノート テスト
			B(2)イ	球の体積や表面積を、その球がちょうど入る円柱の体積や表面積と比べ、その求め方を考え、説明することができる。	ノート 発表 テスト
基本の問題 章の問題	2				ノート
7章 データの 分析と活用 ①データの整理 と分析 1 データの分析 の見方	3	既習のデータの整理や分析の方法を、問題解決に生かそうとしている。 データを度数分布表やヒストグラムに表し、分布の特徴を読み取り、説明することができる。 相対度数の必要性と意味を理解し、2つのデータを相対度数の折れ線に表して、分布を比較し、説明することができる。	D(1)ア	ヒストグラムや度数折れ線の必要性と意味を理解し、それらを用いてデータを整理することができる。累積度数の必要性と意味を理解し、求めることができる。 ヒストグラムや度数折れ線の必要性と意味を理解し、それらを用いてデータを整理することができる。	ノート テスト
			D(1)イ	度数分布表やヒストグラムから、データの分布の特徴を読み取り、説明することができる。 相対度数の折れ線から、2つのデータの分布を比較し、説明することができる。	ノート 発表 テスト
			主体的に学習に取り組む態度	ヒストグラムや相対度数の必要性や意味を考えようとしている。 既習のデータの整理や分析の方法を、問題解決に生かそうとしている。	ノート 発表 テスト
2 データの分布 の特徴の表し方	2	代表値や範囲を用いてデータの分布の傾向を読み取り、説明することができる。	D(1)ア	代表値や範囲の必要性と意味を理解し、それらを求めることができる。	ノート テスト
			D(1)イ	代表値や範囲を用いてデータの分布の傾向を読み取り、説明することができる。	ノート 発表 テスト
			主体的に学習に取り組む態度	代表値や範囲の必要性や意味を考えようとしている。	ノート 発表 テスト
②データの活用 どちらの並び方がよいか	1	目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断することができる。	D(1)ア	コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理することができる。	ノート テスト
			D(1)イ	目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断することができる。	ノート 発表 テスト
			主体的に学習に取り組む態度	ヒストグラムや相対度数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。ヒストグラムや相対度数を活用した問題解決の過程を振り返って検討したり、多面的に捉え考えようとしていたりしている。	ノート 発表 テスト
③ことがらの起こりやすさ 1 起こりやすさの表し方	3	不確定な事象の起こりやすさを、その事象の起こる割合や試行の回数に着目して考え、説明することができる。 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性と意味を理解する。 多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り、説明することができる。	D(1)ア	多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性と意味を理解している。	ノート テスト
			D(1)イ	不確定な事象の起こりやすさを、その事象の起こる割合や試行の回数に着目して考え、説明することができる。 多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り、説明することができる。	ノート 発表 テスト
			主体的に学習に取り組む態度	多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性や意味を考えようとしている。 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	ノート 発表 テスト
章の問題	1				
予備時間	6				ノート

令和5年度 第2学年 数学科 年間指導計画

月	題材名	時数	目標	学習指導要領	観点別学習状況の評価規準	評価方法
4月	1章 式の計算 スタート地点を決めよう	1	身のまわりの問題を、具体的な数の計算をもとに考え、文字を用いて一般的に表す必要性を理解する。	A(1)イ	身のまわりの問題を、具体的な数の計算をもとに考え、説明することができる。	ノート 発表 テスト
	・式の計算 1 多項式の計算	4	単項式と多項式、次数の意味を理解する。同類項の意味を理解し、同類項をまとめる計算や、多項式の加法や減法の計算ができる。多項式と数の乗法や除法の計算ができる。多項式についてのいろいろな計算ができる。	A(1)ア	単項式と多項式、次数の意味を理解している。同類項の意味を理解し、同類項をまとめる計算ができる。多項式の加法や減法などの計算方法を理解し、計算ができる。	ノート テスト
				主体的に学習に取り組む態度	既習の計算方法と関連付けて、多項式の計算方法を考えようとしている。	ノート 発表 テスト
	2 単項式の乗法と除法	2	単項式どうしの乗法や除法の計算ができる。単項式どうしの乗法と除法の混じった計算ができる。また、式の値をくふうして求めることができる。	A(1)ア	単項式どうしの乗法や除法の計算方法を理解し、計算ができる。式の値をくふうして求めることができる。	ノート テスト
				主体的に学習に取り組む態度	単項式の乗法や除法の意味を考えようとしている。	ノート 発表 テスト
基本の問題	1				ノート	
5月	・2文字式の利用 数の性質を説明するには？	1	具体的な数の性質をもとに数の性質を見だし、その性質が成り立つことを、文字を使って一般的に説明できることを理解する。	A(1)ア	文字を使うと、数の性質を一般的に説明することができることを理解している。	ノート テスト
				主体的に学習に取り組む態度	文字を使った式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	ノート 発表 テスト
	1 式による説明	2	数の性質が成り立つことを、文字を使って説明することができる。	A(1)ア	文字を使って数量を表したり、説明することがらに合わせて文字式を変形したりすることができる。	ノート テスト
				A(1)イ	数の性質が成り立つことを、文字を使って説明することができる。問題の条件を変えて統一的・発展的に考え、説明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	文字を使った式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	ノート 発表 テスト
	数の並びから性質を見つけよう	1	数の性質が成り立つことを、文字を使って説明することができる。	A(1)イ	数の性質が成り立つことを、文字を使って説明することができる。予想したことがらが正しくない理由を説明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	文字式を活用した問題解決の過程を振り返って、検討しようとしている。	ノート 発表 テスト
2 等式の変形	2	目的に応じて等式を変形することの必要性を理解し、等式を変形して、ある文字について解くことができる。	A(1)ア	目的に応じて等式を変形することの必要性を理解している。等式を変形して、ある文字について解くことができる。	ノート テスト	
			主体的に学習に取り組む態度	目的に応じて等式を変形することの必要性を考えようとしている。	ノート 発表 テスト	
基本の問題 章の問題A	2				ノート	
2章 連立方程式 ・連立方程式とその解 3点シュート、2点シュートの本数は？	1	求めたい数量が2つある問題を、既習の1元1次方程式などを活用して解決することができる。	A(2)イ	求めたい数量が2つある問題を、既習の1元1次方程式などを活用して解決することができる。	ノート 発表 テスト	
			主体的に学習に取り組む態度	1元1次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って、2元1次方程式の必要性和意味を考えようとしている。	ノート 発表 テスト	
6月	1 連立方程式とその解	1	2元1次方程式とその解の意味、連立方程式とその解の意味を理解する。	A(2)ア	2元1次方程式とその解の意味を理解している。連立方程式とその解の意味を理解している。	ノート テスト
				主体的に学習に取り組む態度	連立2元1次方程式の必要性和意味を考えようとしている。	ノート 発表 テスト

6月	2 連立方程式の解き方	3	連立方程式では、1つの文字を消去して1次方程式をつくれれば解けることを理解する。 加減法を理解し、それを用いて連立方程式を解くことができる。 代入法を理解し、それを用いて連立方程式を解くことができる。	A(2)ア	連立方程式では、1つの文字を消去して1次方程式をつくれれば解けることを理解している。 文字の係数の絶対値が等しい場合の連立方程式を解くことができる。 加減法や代入法を理解し、それを用いて連立方程式を解くことができる。	ノート テスト
				A(2)イ	文字の係数の絶対値が等しい場合や等しくない場合の連立方程式で、1つの文字を消去する方法を考え、説明することができる。 一方の式を他方の式に代入し、文字を消去する方法を考え、説明することができる。 連立方程式の解き方を振り返って、加減法と代入法を統合的に捉えることができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	1元1次方程式と関連付けて、連立方程式を解く方法を考えようとしている。	ノート 発表 テスト
	3 いろいろな連立方程式	1	かっこをふくむ連立方程式や、係数に小数や分数をふくむ連立方程式を解くことができる。 A=B=Cの形をした連立方程式を解くことができる。	A(1)ア	かっこをふくむ連立方程式の解き方を理解し、解くことができる。 係数に小数や分数をふくむ連立方程式の解き方を理解し、解くことができる。 A=B=Cの形をした連立方程式の解き方を理解し、解くことができる。	ノート テスト
				A(1)イ	いろいろな連立方程式を、既知の連立方程式になおして解く方法を考え、説明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	いろいろな連立方程式を、既知の連立方程式になおして解く方法を考えようとしている。	ノート 発表 テスト
	基本の問題	1				ノート
	・連立方程式の利用 ケーキとプリンを何個買う？ 1 連立方程式の利用	4	具体的な問題を、連立方程式を利用して解決するときの考え方や手順を理解する。 個数と代金に関する問題を、連立方程式を利用して解決することができる。 速さ・時間・道のりに関する問題を、連立方程式を利用して解決することができる。 割合に関する問題を、連立方程式を利用して解決することができる。	A(2)ア	具体的な問題の中の数量やその関係に着目し、連立方程式をつくることができる。 連立2元1次方程式を利用して問題を解決するときの手順を理解している。	ノート テスト
				A(2)イ	連立2元1次方程式を利用して、具体的な問題を解決することができる。 求めた解が問題に適しているかどうかを、問題の場面に戻って考え、説明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	連立2元1次方程式を具体的な問題の解決に利用しようとしている。 連立2元1次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って、その手順を検討しようとしている。	ノート 発表 テスト
章の問題	1				ノート	
7月	3章 1次関数◎ ・1次関数 お湯が沸くまでの時間は？ 1 1次関数	2	具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を調べ、一定の割合で変化していることを見いだす。 1次関数の意味を理解し、 $y=ax+b$ の式に表すことができる。	C(1)ア	1次関数の意味を理解し、 $y=ax+b$ の式に表すことができる。 比例 $y=ax$ は、1次関数 $y=ax+b$ で $b=0$ の特別な場合であることを理解している。	ノート テスト
				C(1)イ	具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を調べ、一定の割合で変化していることを見だし、表やグラフを用いて説明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	1次関数の必要性和意味を考えようとしている。	ノート 発表 テスト
	・1次関数の性質と調べ方 1次関数の性質を調べてみよう 1 1次関数の値の変化	1	1次関数 $y=ax+b$ では、変化の割合は一定で、 a に等しいことを理解する。	C(1)ア	1次関数 $y=ax+b$ では、変化の割合は一定で、 a に等しいことを理解している。 1次関数 $y=ax+b$ で、 x の増加量から y の増加量を求めることができる。 具体的な事象において、1次関数の変化の割合が何を意味しているかを読み取ることができる。	ノート テスト
				C(1)イ	1次関数の値の変化の特徴を見だし、説明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	1次関数の値の変化の特徴を捉えようとしている。	ノート 発表 テスト
	2 1次関数のグラフ	3	1次関数のグラフは、その式をみたす点の集合で、1つの直線であることを理解する。また、1次関数のグラフの切片の意味を理解する。 1次関数のグラフの傾きの意味を理解する。 1次関数のグラフを、切片と傾きをもとにかくことができる。	C(1)ア	1次関数のグラフは、その式をみたす点の集合で、1つの直線であることを理解している。 1次関数のグラフの切片、傾きの意味を理解している。 1次関数の値の増減とグラフの特徴を理解している。 1次関数のグラフを、切片と傾きをもとにかくことができる。	ノート テスト
				C(1)イ	1次関数のグラフの特徴を見だし、説明することができる。 1次関数の表、式、グラフを、相互に関連付けて考え、説明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	比例のグラフと対比させて、1次関数のグラフの特徴を捉えようとしている。	ノート 発表 テスト

9月	3 1次関数の式を求める方法	3	<p>グラフの傾きと切片を読み取って、1次関数の式を求めることができる。</p> <p>グラフの傾きと通る1点から、1次関数の式を求めることができる。</p> <p>グラフが通る2点から、1次関数の式を求めることができる。</p>	C(1)ア	<p>グラフの傾きと切片を読み取って、1次関数を求めることができる。</p> <p>グラフの傾きと通る1点の座標から、1次関数の式を求めることができる。</p> <p>グラフが通る2点の座標から、1次関数の式を求めることができる。</p>	ノート テスト
				主体的に学習に取り組む態度	1次関数の式を求める条件や求める方法を考えようとしている。	ノート 発表 テスト
	基本の問題	1				
9月	・2元1次方程式と関数 連立方程式の解はどうか？ 1 2元1次方程式のグラフ	3	<p>2元1次方程式のグラフは、その解を座標とする点の集合で、式を変形してできる1次関数のグラフになっていることを理解する。</p> <p>2元1次方程式のグラフをかくことができる。</p> <p>2元1次方程式$ax+by=c$で、$a=0$や$b=0$の場合のグラフの特徴を理解し、グラフをかくことができる。</p>	C(1)ア	<p>2元1次方程式のグラフは、その解を座標とする点の集合で、式を変形してできる1次関数のグラフになっていることを理解している。</p> <p>2元1次方程式のグラフをかくことができる。</p> <p>2元1次方程式$ax+by=c$で、$a=0$や$b=0$の場合のグラフの特徴を理解し、グラフをかくことができる。</p>	ノート テスト
				主体的に学習に取り組む態度	2元1次方程式や連立方程式の解の意味を、グラフを用いて捉えようとしている。	ノート 発表 テスト
	基本の問題	1				
9月	2 連立方程式とグラフ	1	連立方程式の解が、2つの2元1次方程式のグラフの交点の座標であることを理解し、連立方程式の解をグラフをかいて求めたり、2直線の交点の座標を連立方程式を解いて求めたりすることができる。	C(1)ア	連立方程式の解が、2つの2元1次方程式のグラフの交点の座標であることを理解し、連立方程式の解をグラフをかいて求めたり、2直線の交点の座標を連立方程式を解いて求めたりすることができる。	ノート テスト
				C(1)イ	連立方程式の解の意味を、2つの2元1次方程式のグラフを用いて捉え、説明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	2元1次方程式や連立方程式の解の意味を、グラフを用いて捉えようとしている。	ノート 発表 テスト
	基本の問題	1				ノート
	・1次関数の利用 飲み物はいつまで冷たく保てる？	1	飲み物がいつまで冷たく保てるかを、説明書に書かれた時間と温度をもとにして予想し、その方法を説明する。	C(1)ア	身のまわりには、2つの数量の間の関係を1次関数とみなして問題を解決できる場面があることを理解している。	ノート テスト
				C(1)イ	具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、問題を解決する方法を説明することができる。	ノート 発表 テスト
9月				主体的に学習に取り組む態度	1次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	ノート 発表 テスト
	1 1次関数とみなすこと	1	具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、問題を解決することができる。	C(1)ア	身のまわりには、2つの数量の間の関係を1次関数とみなして問題を解決できる場面があることを理解している。	ノート テスト
				C(1)イ	具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、問題を解決することができる。	ノート 発表 テスト
			主体的に学習に取り組む態度	1次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	ノート 発表 テスト	
10月	2 1次関数のグラフの利用	1	具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、そのグラフを利用して問題を解決することができる。	C(1)ア	1次関数のグラフを利用して問題を解決できることや、グラフのよさを理解している。	ノート テスト
				C(1)イ	具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、そのグラフを利用して問題を解決することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	1次関数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	ノート 発表 テスト
	3 1次関数と図形	1	図形の辺上を動く点によってできる図形の面積の変化を、1次関数の式やグラフで表すことができる。	C(1)ア	1次関数の関係を、変域ごとに式やグラフで表すことができる。	ノート テスト
				C(1)イ	具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を、変域によって場合分けをして考え、説明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	1次関数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	ノート 発表 テスト
	章の問題	1				ノート
4章 平行と合同 ・説明のしくみ 角の性質の説明では何をもとにしているかな？	1	多角形の内角の和の求め方を説明することができる。	B(1)イ	多角形の内角の和の求め方を説明することができる。	ノート 発表 テスト	
			主体的に学習に取り組む態度	多角形の角についての性質の説明で、もとにしていることがらを考えようとしている。	ノート 発表 テスト	

10月	1 多角形の角の和の説明	2	n角形の内角の和の求め方を、もとにしていることがらを明らかにして説明することができる。	B(1)ア	多角形の内角、外角の意味を理解している。 多角形の内角の和の性質は、三角形の内角の和をもとに見いだせることを理解している。 多角形の外角の和の性質は、多角形の内角の和をもとに見いだせることを理解している。	ノート テスト
				B(1)イ	n角形の内角の和の求め方を、もとにしていることがらを明らかにして説明することができる。 n角形の外角の和の求め方を、もとにしていることがらを明らかにして説明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	多角形の角についての性質の説明で、もとにしていることがらを考えようとしている	
	・平行線と角 直線が交わってできる角の性質を調べよう 1 平行線と角	3	対頂角の意味を理解し、対頂角は等しいことを、論理的に筋道を立てて説明することができる。 同位角、錯角の意味を理解し、平行線と錯角の関係を、論理的に筋道を立てて説明することができる。 三角形の内角の和が 180° であることを、論理的に筋道を立てて説明することができる。	B(1)ア	対頂角の意味と性質を理解している。 同位角、錯角の意味を理解している。 平行線の性質、平行線になるための条件を理解している。 証明の意味を理解している。 三角形の内角、外角の性質を理解し、角の大きさを求めることができる。 多角形の内角の和、外角の和の性質を理解し、角の大きさを求めることができる。	ノート テスト
				B(1)イ	三角形の内角の和が 180° であることを、論理的に筋道を立てて説明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	証明の必要性と意味を考えようとしている。	ノート 発表 テスト
	角の大きさを求める方法を考えてみよう	1	角の大きさの求め方を、補助線や根拠となる図形の性質を明らかにして説明することができる。	B(1)イ	角の大きさの求め方を、補助線や根拠となる図形の性質を明らかにして説明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	平面図形の性質について学んだことを学習に生かそうとしている。	ノート 発表 テスト
	基本の問題	1				ノート
	11月	・合同な図形 図形の合同を調べるには？ 1 合同な図形の性質と表し方	1	平面図形の合同の意味と合同な図形の性質を理解する。	B(2)ア	平面図形の合同の意味と表し方を理解している。 合同な図形の性質を理解している。
主体的に学習に取り組む態度					平面図形の合同の意味を考えようとしている。	ノート 発表 テスト
2 三角形の合同条件		2	三角形の合同条件を理解する。 2つの三角形が合同かどうかを、三角形の合同条件を使って判断することができる。	B(2)ア	三角形の合同条件を理解している。 三角形の合同条件を利用して、2つの三角形が合同かどうかを判断することができる。	ノート テスト
				B(2)イ	三角形の合同条件を、三角形の決定条件をもとにして考え、説明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	三角形の合同条件を、三角形の決定条件をもとにして考えようとしている。 三角形の合同条件を学習に生かそうとしている。	ノート 発表 テスト
3 証明のすずめ方		2	ことからの仮定と結論の意味を理解する。 根拠となることがらを明らかにして、簡単な図形の性質を証明することができる。	B(2)ア	ことからの仮定と結論の意味を理解している。 証明の進め方を理解している。 ○証明のためにかいた図は、すべての代表として示されていることを理解している。	ノート テスト
				B(2)イ	証明の根拠となることがらを明らかにして、簡単な図形の性質を証明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	証明の必要性と意味及びその方法を考えようとしている。	ノート 発表 テスト
基本の問題 章の問題A		2				ノート
5章 三角形と四角形 ・三角形 直角ができるのはなぜ？ 1 二等辺三角形の性質		3	あたえられた手順で、いつでも直角ができる理由を考え、説明することができる。 二等辺三角形の底角の性質を証明することができる。 二等辺三角形の頂角の二等分線の性質を見いだすことができる。また、正三角形の性質を証明することができる。	B(2)ア	二等辺三角形の定義を理解している。 二等辺三角形の頂角、底辺、底角の意味を理解している。 二等辺三角形の底角の性質を理解し、角の大きさを求めることができる。 二等辺三角形の頂角の二等分線の性質を理解している。 正三角形の定義と性質を理解している。	ノート テスト
	B(2)イ			あたえられた手順で、いつでも直角ができる理由を考え、説明することができる。 二等辺三角形の底角の性質を証明することができる。 二等辺三角形の底角の性質の証明を読んで頂角の二等分線の性質を見だし、証明することができる。 正三角形の性質を証明することができる。	ノート 発表 テスト	
	主体的に学習に取り組む態度			平面図形の性質について学んだことを生活に生かそうとしている。 二等辺三角形の性質を証明する方法を考えようとしている。	ノート 発表 テスト	
章の問題	1				ノート	

12月	2 二等辺三角形になるための条件	2	二等辺三角形になるための条件を論理的に確かめることができる。また、二等辺三角形になるための条件を利用して、図形の性質を証明することができる。 ことからの逆と反例の意味を理解する。	B (2) ア	二等辺三角形になるための条件を理解している。 二等辺三角形になるための条件の証明において、辺や角の関係などを読みとることができる。 ことからの逆と反例の意味を理解している。	ノート テスト
				B (2) イ	2つの角が等しい三角形の2辺は等しいことの証明について考察することができる。 ○二等辺三角形になるための条件を利用して、図形の性質を証明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	二等辺三角形になるための条件を証明する方法を考えようとしている。	ノート 発表 テスト
	3 直角三角形の合同	2	直角三角形の合同条件を、三角形の合同条件をもとにして考え、説明することができる。 直角三角形の合同条件を利用して、図形の性質を証明することができる。	B (2) ア	直角三角形の合同条件を理解している。 直角三角形の合同条件を利用して、図形の性質を証明することができる。	ノート テスト
				B (2) イ	直角三角形の合同条件を、三角形の合同条件をもとにして考え、説明することができる。 証明を振り返って、新たな性質を見出すことができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	直角三角形の合同条件を、三角形の合同条件をもとにして考えようとしている。 直角三角形の合同条件を学習に生かそうとしている。	ノート 発表 テスト
	基本の問題	1				ノート
	・平行四辺形 テープを重ねてできる図形は？ 1 平行四辺形の性質	3	平行四辺形の定義と性質を理解する。 平行四辺形の性質を証明することができる。 平行四辺形の性質を利用して、図形の性質を証明することができる。	B (2) ア	平行四辺形の定義と性質を理解している。 証明のためにかいた図は、すべての代表として示されていることを理解している。	ノート テスト
				B (2) イ	平行四辺形の性質を証明することができる。 平行四辺形の性質を利用して、図形の性質を証明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	平行四辺形の性質を証明する方法を考えようとしている。 平行四辺形の性質を学習に生かそうとしている。	ノート 発表 テスト
	2 平行四辺形になるための条件	4	具体的な事象を考察することを通して、平行四辺形になるための条件2を証明することができる。 平行四辺形の性質の逆を証明することを通して、平行四辺形になるための条件3、4を見いだすことができる。 平行四辺形になるための条件5を証明することができる。 平行四辺形になるための条件を利用して図形の性質を証明したり、その証明を振り返って統合的・発展的に考えたりすることができる。	B (2) ア	平行四辺形になるための条件の証明において、辺や角の関係などを読みとることができる。 平行四辺形になるための条件を理解している。	ノート テスト
				B (2) イ	具体的な事象を考察することを通して、平行四辺形になるための条件2を証明することができる。 平行四辺形の性質の逆を証明することを通して、平行四辺形になるための条件3、4を見いだすことができる。 平行四辺形になるための条件5を証明することができる。 平行四辺形になるための条件を利用して図形の性質を証明したり、その証明を振り返って統合的・発展的に考えたりすることができる。	ノート 発表 テスト
主体的に学習に取り組む態度				平行四辺形になるための条件を証明する方法を考えようとしている。 平行四辺形になるための条件を学習に生かそうとしている。	ノート 発表 テスト	
1月	3 特別な平行四辺形	2	長方形、ひし形、正方形の定義やそれらと平行四辺形との相互関係を理解する。 長方形やひし形の対角線の性質を証明することができる。また、その性質の逆が正しくないことを、反例をあげて示すことができる。	B (2) ア	長方形、ひし形、正方形の定義やそれらと平行四辺形との相互関係を理解している。 長方形やひし形の対角線の性質を理解している。	ノート テスト
				B (2) イ	長方形、ひし形、正方形の定義をもとにして、それらが平行四辺形であることを証明することができる。 長方形やひし形の対角線の性質を証明することができる。 長方形やひし形の対角線の性質の逆が正しくないことを、反例をあげて証明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	長方形、ひし形、正方形と平行四辺形との相互関係を捉えようとしている。	ノート 発表 テスト
	2つの正三角形の性質は？	1	既習の内容を活用して、図形の性質を見だし証明したり、問題の条件を変えて統合的・発展的に考えたりすることができる。	B (2) イ	既習を活用して、図形の性質を見だし証明したり、統合的・発展的に考えたりすることができる。	ノート 発表 テスト
主体的に学習に取り組む態度				平面図形の性質や図形の合同について学んだことを学習に生かそうとしている。 平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	ノート 発表 テスト	

4	平行線と面積	1	平行線の性質を利用して、図形を等積変形することができる。	B(2)ア	底辺が同じで高さが等しい三角形の面積は等しいことを理解している。平行線の性質を利用して、図形を等積変形することができる。	ノート テスト	
				B(2)イ	平行線の性質を利用して、図形を等積変形する方法を考え、説明することができる。	ノート 発表 テスト	
				主体的に学習に取り組む態度	平行線の性質を学習に生かそうとしている。	ノート 発表 テスト	
	基本の問題 章の問題 A	2				ノート	
1月	6章 確率 1 確率 くじを先にひく？あとにひく？	1	多数回の実験の結果をもとにして、あたりやすさの傾向を読み取り、説明することができる。	D(2)ア	多数回の実験の結果をもとにして、あたりやすさの傾向を読み取り、説明することができる。	ノート 発表 テスト	
				主体的に学習に取り組む態度	場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を考えようとしている。	ノート 発表 テスト	
	1 同様に確からしいこと	2	多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味及び確率の求め方を理解する。 起こりうる場合を、樹形図や表を使って全部あげ、確率を求めることができる。	D(2)ア	多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味及び確率の求め方を理解している。確率pの値の範囲が、 $0 \leq p \leq 1$ であることを理解している。起こりうる場合を、樹形図や表を使って全部あげ、確率を求めることができる。	ノート テスト	
				D(2)イ	実験によらずに確率を求める方法を、場合の数に着目して考え、説明することができる。 同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考え、説明する。	ノート 発表 テスト	
				主体的に学習に取り組む態度	同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考えようとしている。	ノート 発表 テスト	
	2 いろいろな確率	2	起こりうる場合の組み合わせを考えて、確率を求めることができる。また、起こりうる場合を2次元の表に整理し、確率を求めることができる。 あることからの起こらない確率の求め方を理解し、その確率を求めることができる。	D(2)ア	起こりうる場合の組み合わせを考えて、確率を求めることができる。起こりうる場合を2次元の表に整理し、確率を求めることができる。あることからの起こらない確率の求め方を理解し、その確率を求めることができる。	ノート テスト	
				D(2)イ	あることからの起こらない確率を、場合の数について成り立つ関係に着目して考え、説明することができる。	ノート 発表 テスト	
				主体的に学習に取り組む態度	同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考えようとしている。	ノート 発表 テスト	
		基本の問題	1				ノート
	・確率による説明 あたりやすいのは？ 1 確率による説明	2	身のまわりの事象の起こりやすさを、確率をもとにして考え、説明することができる。	D(2)イ	身のまわりの事象の起こりやすさを、確率をもとにして考え、説明することができる。 同様に確からしいことに着目し、起こりうる場合の数え方の誤りを指摘することができる。 身のまわりの事象の起こりやすさを、確率をもとにして考え、説明することができる。	ノート 発表 テスト	
主体的に学習に取り組む態度				不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	ノート 発表 テスト		
3月	章の問題 A	1					
	7章 データの比較 ★ ・四分位範囲と箱ひげ図 よく売れる商品は？	1	複数のデータの分布の傾向を比較するとき、ヒストグラムでは比較しにくいことを知る。	D(1)イ	2つのヒストグラムから、データの分布の傾向を比較して読み取り、説明することができる。	ノート 発表 テスト	
	1 四分位範囲と箱ひげ図	3	箱ひげ図と四分位範囲の意味を理解し、データを整理して箱ひげ図に表すことができる。また、箱ひげ図と四分位範囲の特徴を理解する。 四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。	D(1)ア	箱ひげ図と四分位範囲の意味を理解し、データを整理して箱ひげ図に表すことができる。 箱ひげ図と四分位範囲の特徴を理解している。 箱ひげ図とヒストグラムの対応を理解している。 ○箱ひげ図と四分位範囲の必要性を理解している。	ノート テスト	
				D(1)イ	四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。	ノート 発表 テスト	
				主体的に学習に取り組む態度	四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を考えようとしている。 データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 四分位範囲や箱ひげ図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	ノート 発表 テスト	
		章の問題 A	1				ノート
	予備時間	6					

令和5年度 第3学年 数学科 年間指導計画

月	題材名	時数	目標	学習指導要領	観点別学習状況の評価規準	評価方法
4月	1章多項式 ①多項式の計算 ・どちらが先に ゴールするの かな？	2	具体的な問題，文字式とその計算を利用して解決することを通して，文字のよさを理解する。	A(2)イ	具体的な問題を，文字式とその計算を利用して解決することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に 取り組む態度	文字を使った式の必要性和意味を考えようとしている。	ノート 発表 テスト
	1多項式と単項式 の乗除		単項式と多項式の乗法や多項式を単項式でわる 除法の計算ができる。	A(2)ア	単項式と多項式の乗法の計算方法を理解し，計算することができる。 多項式を単項式でわる除法の計算方法を理解し，計算することができる。	ノート テスト
				主体的に学習に 取り組む態度	文字を使った式の必要性和意味を考えようとしている。	ノート 発表 テスト
	2多項式の乗法	1	式を展開することの意味を理解し，多項式ど うしの積を展開できる。	A(2)ア	式を展開することの意味を理解し，多項式ど うしの積を展開できる。	ノート テスト
				A(2)イ	多項式と多項式の乗法を，面積図を用いたり，1つの多項式を文字におきかえ たりして考え，説明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に 取り組む態度	式を展開することの必要性和意味を考えようとしている。	ノート 発表 テスト
	3乗法公式	4	乗法公式1，2，3，4を見だし，それを利用 して式を展開できる。 乗法公式を利用して，いろいろな式をくふうし て展開できる。	A(2)ア	乗法公式1，2，3，4を理解し，公式1を利用して式を展開できる。 乗法公式を利用して，いろいろな式をくふうして展開できる。	ノート テスト
				A(2)イ	$(x+a)(x+b)$ を展開したり，面積図を用いたりして，乗法公式1を導くことが できる。 乗法公式1をもとにして，乗法公式2，3，4を導くことができる。 乗法公式を利用するために，式の一部を1つの文字におきかえる方法を考え，説 明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に 取り組む態度	式を展開する方法を考えようとしている。 式の展開について学んだことを学習に生かそうとしている。	ノート 発表 テスト
	基本の問題	1				ノート
	②因数分解 ・長方形の縦と横 の長さ？	1	式の展開とは逆に，多項式をいくつかの式の積 で表すことができることを理解する。	A(2)ア	多項式をいくつかの式の積で表すことができることを理解している。 巻末の正方形や長方形を使って，あたえられた面積の長方形をつくること ができる。	ノート テスト
主体的に学習に 取り組む態度				式を因数分解することの必要性和意味を考えようとしている。	ノート 発表 テスト	
1因数分解	1	式を因数分解することの意味を理解し，共通な 因数をくり出して，式を因数分解できる。	A(2)ア	式の因数，式を因数分解することの意味を理解し，共通な因数をくり出して， 式を因数分解できる。	ノート テスト	
			主体的に学習に 取り組む態度	式を因数分解することの必要性和意味を考えようとしている。	ノート 発表 テスト	
2公式を利用する 因数分解	3	乗法公式1，2，3，4を逆にみて，公式1'， 2'，3'，4'を導き，それらを利用して，式を因 数分解できる。 因数分解の公式を利用して，いろいろな式をく ふうして因数分解できる。	A(2)ア	因数分解の公式1'，2'，3'，4'を理解し，公式1'，2'，3'，4'を利用して，式を因数 分解できる。 因数分解の公式を利用して，いろいろな式をくふうして因数分解できる。	ノート テスト	
			A(2)イ	公式1'の因数分解で，a，bの見つけ方を，面積図を使って考え，説明すること ができる。 因数分解の公式を利用するために，式の一部を1つの文字におきかえる方法を考 え，説明することができる。	ノート 発表 テスト	
			主体的に学習に 取り組む態度	式を因数分解する方法を考えようとしている。 式の因数分解について学んだことを学習に生かそうとしている。	ノート 発表 テスト	
基本の問題	1				ノート	
3式の計算の利用 ・速算のしくみ を探ろう	1	速算の方法を予想し，その予想が正しいことを 文字式とその計算を利用して証明する。	A(2)ア	文字を使って数量を表したり，目的に応じて式を変形したりすることができる。	ノート テスト	
			A(2)イ	速算の方法が正しいことを，文字を使って証明することができる。	ノート 発表 テスト	
			主体的に学習に 取り組む態度	式の展開や因数分解について学んだことを学習に生かそうとしている。 式の展開や因数分解を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとして いる。	ノート 発表 テスト	
1式の計算の利用	3	乗法公式や因数分解の公式を利用して，数の計 算の結果や式の値をくふうして求めることが できる。 数の性質が成り立つことを，文字を使って証明 することができる。 図形の性質が成り立つことを，文字式とその計 算を利用して証明することができる。	A(2)ア	文字を使って数量を表したり，目的に応じて式を変形したりすることができる。	ノート テスト	
			A(2)イ	乗法公式や因数分解の公式を利用して，数の計算の結果や式の値をくふうして求 める方法を考え，説明することができる。 数の性質が成り立つことを，文字を使って証明することができる。 文字を使った証明を読んで，新たな性質を見いだすことができる。 図形の性質が成り立つことを，文字式とその計算を利用して証明することができ る。	ノート 発表 テスト	
			主体的に学習に 取り組む態度	式の展開や因数分解について学んだことを学習に生かそうとしている。 式の展開や因数分解を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとして いる。	ノート 発表 テスト	
章の問題	1				ノート	

5月	2章 平方根 ①平方根 いろいろな面積の正方形をかくみよう	1	方眼を使ってかいた正方形には、1辺の長さが整数で表せない場合があることを理解する。	A (1) イ	方眼を使ってかいた正方形の面積の求め方を考え、説明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	数の平方根の必要性和意味を考えようとしている。	ノート 発表 テスト
	1 平方根	4	2乗して2になる数は、かぎりなく続く小数であり、根号を使って表すことを理解する。 平方根の意味を理解し、ある数の平方根を求めることができる。 平方根の大小関係を理解し、平方根の大小を不等号を使って表すことができる。	A (1) ア	2乗して2になる数は、かぎりなく続く小数であり、根号を使って表すことを理解している。 平方根の意味を理解し、ある数の平方根を求めることができる。 $\sqrt{(a^2)}$ 、 $(\sqrt{a})^2$ を、根号を使わずに表すことができる。 平方根の大小関係を理解し、平方根の大小を不等号を使って表すことができる。 有理数、無理数の意味を理解し、これまで学んだ数を有理数と無理数に分類できる。	ノート テスト
				A (1) イ	2つの正方形の面積と1辺の長さの関係をもとに、平方根の大小を考え、説明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	数の平方根の必要性和意味を考えようとしている。	ノート 発表 テスト
				A (1) ア	有理数を小数で表すと、有限小数か循環小数になることを理解している。	ノート テスト
				主体的に学習に取り組む態度	数の平方根の必要性和意味を考えようとしている。	ノート 発表 テスト
	基本の問題	1				ノート
	②根号をふくむ式の計算 ・新しい数の世界の計算を考えよう	1	根号をふくむ式の乗法や除法の計算方法を理解する。	A (1) ア	根号をふくむ式の乗法や除法の計算方法を理解している。	ノート テスト
				A (1) イ	$\sqrt{a} \times \sqrt{b} = \sqrt{(a \times b)}$ と計算してよい理由を、具体的な数や近似値を用いて考え、説明することができる。	ノート 発表 テスト
			主体的に学習に取り組む態度	根号をふくむ式の乗法や除法の計算方法を考えようとしている。	ノート 発表 テスト	
6月	1 根号をふくむ式の乗除	3	根号のついた数を変形することができる。また、根号のついた数を変形して、近似値を求めることができる。 分母を有理化することの意味を理解し、ある数の分母を有理化することができる。 根号をふくむ式の乗法や除法の計算ができる。	A (1) ア	根号のついた数を変形することができる。 根号のついた数を変形して、近似値を求めることができる。 分母を有理化することの意味を理解し、ある数の分母を有理化することができる。 根号をふくむ式の乗法や除法の計算ができる。	ノート テスト
				主体的に学習に取り組む態度	根号をふくむ式の乗法や除法の計算方法を考えようとしている。	ノート 発表 テスト
	2 根号をふくむ式の加減	2	$\sqrt{a} + \sqrt{b} = \sqrt{(a+b)}$ と計算できない理由を、近似値や面積図を用いて考え、説明することができる。 根号をふくむ式の加法や減法の計算ができる。	A (1) ア	$\sqrt{2} + \sqrt{3}$ は、これ以上簡単にすることができない数であることを理解している。 根号をふくむ式の乗法や除法の計算ができる。	ノート テスト
				A (1) イ	$\sqrt{a} + \sqrt{b} = \sqrt{(a+b)}$ と計算できない理由を、近似値や面積図を用いて考え、説明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	根号をふくむ式の加法や減法の計算方法を考えようとしている。	ノート 発表 テスト
	3 根号をふくむ式のいろいろな計算	1	分配法則や乗法公式を利用して、根号をふくむ式を計算できる。また、根号をふくむ式の計算を使って、式の値を求めることができる。	A (1) ア	分配法則や乗法公式を利用して、根号をふくむ式を計算できる。 根号をふくむ式の計算を使って、式の値を求めることができる。	ノート テスト
				主体的に学習に取り組む態度	既習の計算法則などを、根号をふくむ式の計算に生かそうとしている。	ノート 発表 テスト
	基本の問題	1				ノート
	③平方根の利用 ・コピー用紙はどんな長方形？	1	数の平方根を具体的な場面で活用することができる。	A (1) ア	具体的な場面で数の平方根を用いて表したり、処理したりすることができる。	ノート テスト
				A (1) イ	数の平方根を具体的な場面で活用することができる。	ノート 発表 テスト
			主体的に学習に取り組む態度	数の平方根について学んだことを生活に生かそうとしている。 数の平方根を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	ノート 発表 テスト	
章の問題	1				ノート	
3章 2次方程式 ①2次方程式とその解き方 ・ロープで囲んだ長方形の面積は？	1	具体的な問題を解決することを通して、2次方程式の必要性を理解する。	A (3) ア	具体的な問題の中から数量の間の関係を見だし、2次方程式をつくることができる。	ノート テスト	
			主体的に学習に取り組む態度	2次方程式の必要性和意味を考えようとしている。	ノート 発表 テスト	
1 2次方程式とその解	1	2次方程式とその解の意味を理解する。	A (3) ア	2次方程式とその解の意味を理解している。	ノート テスト	
			主体的に学習に取り組む態度	2次方程式の必要性和意味を考えようとしている。	ノート 発表 テスト	
7月	2 平方根の考えを使った解き方	3	平方根の考えを使って、 $ax^2+c=0$ 、 $(x+\blacktriangle)^2=\bullet$ の形をした2次方程式を解くことができる。 $x^2+px+q=0$ の形をした2次方程式を、 $(x+\blacktriangle)^2=\bullet$ の形に変形して解く方法を理解する。 $x^2+px+q=0$ の形をした2次方程式を、 $(x+\blacktriangle)^2=\bullet$ の形に変形して解くことができる。	A (3) ア	平方根の考えを使って、 $ax^2+c=0$ 、 $(x+\blacktriangle)^2=\bullet$ の形をした2次方程式を解くことができる。 $x^2+px+q=0$ の形をした2次方程式を、 $(x+\blacktriangle)^2=\bullet$ の形に変形して解く方法を理解し、解くことができる。	ノート テスト
				A (3) イ	平方根の考えをもとにして、2次方程式の解き方を考え、説明することができる。 $x^2+px+q=0$ の形をした2次方程式を、 $(x+\blacktriangle)^2=\bullet$ の形に変形して解く方法を考え、説明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	平方根の考えをもとにして、2次方程式の解き方を考えようとしている。	ノート 発表 テスト

7月	3 2次方程式の解の公式	2	2次方程式の解の公式の意味を理解する。 解の公式を使って2次方程式を解くことができる。	A (3) ア	2次方程式の解の公式の意味を理解し、解の公式を使って2次方程式を解くことができる。	ノート テスト
				主体的に学習に取り組む態度	平方根の考えをもとにして、2次方程式の解き方を考えようとしている。	ノート 発表 テスト
	4 因数分解を使った解き方	1	因数分解を使って2次方程式を解くことができる。	A (3) ア	因数分解を使って2次方程式を解くことができる。	ノート テスト
				A (3) イ	因数分解の考えをもとにして、2次方程式の解き方を考え、説明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	因数分解の考えをもとにして、2次方程式の解き方を考えようとしている。	ノート 発表 テスト
	5 いろいろな2次方程式	1	いろいろな2次方程式を、適当な方法で解くことができる。	A (3) ア	いろいろな2次方程式を、適当な方法で解くことができる。	ノート テスト
				A (3) イ	2次方程式の式の形や係数に着目して、それぞれに適した解き方を考え、説明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	2次方程式の解き方を振り返って、よりよい方法で解こうとしている。	ノート 発表 テスト
	基本の問題	1				ノート
	② 2次方程式の利用 ・畑に通路をつくらう	1	具体的な問題を、2次方程式を利用して解決するときの考え方や手順を理解する。	A (3) ア	2次方程式を利用して問題を解決するときの手順を理解している。 具体的な問題の中から数量の間の関係を見だし、2次方程式をつくることができる。	ノート テスト
				A (3) イ	具体的な問題の解決に2次方程式を活用し、解が適切であるかどうかを判断することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	2次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 2次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	ノート 発表 テスト
9月	1 2次方程式の利用	3	数に関する問題を、2次方程式を利用して解決することができる。 長方形の紙から作った直方体の容器の容積に関する問題を、2次方程式を利用して解決することができる。 図形の動点に関する問題を、2次方程式を利用して解決することができる。	A (3) ア	2次方程式を利用して問題を解決するときの手順を理解している。 具体的な問題の中から数量の間の関係を見だし、2次方程式をつくることができる。	ノート テスト
				A (3) イ	具体的な問題の解決に2次方程式を活用し、解が適切であるかどうかを判断することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	2次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 2次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	ノート 発表 テスト
	章の問題	1				ノート
	4 章関数 $y = ax^2$ ① 関数 $y = ax^2$ 1 関数 $y = ax^2$	4	具体的な事象の中の2つの数量の変化や対応の様子を調べ、変化の割合が一定ではない関数があることを理解する。 関数 $y = ax^2$ の意味を理解する。 関数 $y = ax^2$ の意味を理解し、 $y = ax^2$ の式に表すことができる。	C (2) ア	具体的な事象の中の2つの数量の変化や対応の様子を調べ、変化の割合が一定ではない関数があることを理解する。 関数 $y = ax^2$ の意味を理解している。	ノート テスト
				C (2) イ	具体的な事象の中の2つの数量の変化や対応の様子を、表やグラフを用いて調べ、その特徴を説明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	関数 $y = ax^2$ の必要性和意味を考えようとしている。	ノート 発表 テスト
	② 関数 $y = ax^2$ の性質と調べ方 1 関数 $y = ax^2$ のグラフ	3	関数 $y = x^2$ のグラフの特徴を理解する。 関数 $y = x^2$ と $y = 2x^2$ のグラフ、関数 $y = 2x^2$ と $y = -2x^2$ のグラフの関係を理解する。 関数 $y = ax^2$ のグラフの特徴を理解する。	C (2) ア	関数 $y = ax^2$ のグラフの特徴を理解している。	ノート テスト
				C (2) イ	関数 $y = x^2$ と $y = 2x^2$ のグラフ、関数 $y = 2x^2$ と $y = -2x^2$ のグラフを関連付けて、その特徴を説明することができる。 関数 $y = ax^2$ のグラフについて、 a の値と関連付けて、その特徴を説明することができる。	ノート 発表 テスト
				主体的に学習に取り組む態度	関数 $y = ax^2$ のグラフの特徴を捉えようとしている。	ノート 発表 テスト
	2 関数 $y = ax^2$ の値の変化	4	関数 $y = ax^2$ の値の変化の特徴を理解する。 関数 $y = ax^2$ の変化の割合を求めることができる。 関数 $y = ax^2$ で、 x の変域に対応する y の変域を求めることができる。 具体的な事象において、関数 $y = ax^2$ の変化の割合の意味を考え、説明することができる。	C (2) ア	関数 $y = ax^2$ の値の増減とグラフの特徴を理解している。 関数 $y = ax^2$ の変化の割合は一定ではないことを理解している。 関数 $y = ax^2$ の変化の割合を求めることができる。 関数 $y = ax^2$ の変化の割合は、グラフ上の2点を通る直線の傾きを表していることを理解している。 関数 $y = ax^2$ で、 x の変域に対応する y の変域を求めることができる。 関数 $y = ax^2$ と関数 $y = ax + b$ の特徴を、対比させて理解している。 平均の速さを求めることができる。	ノート テスト
				C (2) イ	関数 $y = ax^2$ の変化の割合を、1次関数の変化の割合と対比させて考え、説明することができる。 関数 $y = ax^2$ のグラフについて、 a の値と関連付けて、その特徴を説明することができる。 関数 $y = ax^2$ の変化の割合を、1次関数の変化の割合と対比させて考え、説明することができる。 具体的な事象において、関数 $y = ax^2$ の変化の割合の意味を考え、説明することができる。	ノート テスト
主体的に学習に取り組む態度				関数 $y = ax^2$ の値の変化の特徴を捉えようとしている。	ノート 発表 テスト	
基本の問題	1				ノート	

10月	③ いろいろな関数の利用 1 関数 $y = ax^2$ の利用	3	具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を、関数 $y = ax^2$ とみなして、問題を解決することができる。 放物線と直線の2つの交点の座標や2つの交点を通る直線の式を求めることができる。	C(2)ア	身のまわりには、2つの数量の間の関係を関数 $y = ax^2$ とみなして、問題を解決できる場面があることを理解している。 放物線と直線の2つの交点の座標や2つの交点を通る直線の式を求めることができる。	ノート テスト
				C(2)イ	具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を、関数 $y = ax^2$ とみなして、問題を解決することができる。 具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を、関数 $y = ax^2$ で捉え、問題を解決することができる。	ノート テスト
				主体的に学習に取り組む態度	関数 $y = ax^2$ について学んだことを生活に生かそうとしている。 関数 $y = ax^2$ を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	ノート 発表 テスト
	2 いろいろな関数	2	いろいろな事象の中から関数関係を見だし、その変化や対応の特徴を捉え、説明することができる。	C(2)ア	いろいろな事象の中に関数関係があることを理解している。	ノート テスト
				C(2)イ	いろいろな事象の中から関数関係を見だし、その変化や対応の特徴を捉え、説明することができる。	ノート テスト
				主体的に学習に取り組む態度	関数 $y = ax^2$ について学んだことを生活に生かそうとしている。 関数 $y = ax^2$ を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	ノート 発表 テスト
	章の問題	1				ノート
	5章 相似な図形 ① 相似な図形 1 相似な図形	4	身のまわりにあるものを図形とみなして、その図形のある点を中心に拡大する方法や拡大してできる図形の特徴を理解する。 平面図形の相似の意味と相似な図形の性質を理解する。また、相似比の意味を理解し、相似比を求めることができる。 相似の位置にあることの意味を理解し、ある図形と相似の位置にある図形をかくことができる。 相似な図形の辺の長さを、対応する辺の比やとなり合う辺の比が等しいことを使って求めることができる。	B(1)ア	平面図形の相似の意味と表し方を理解している。 相似な図形の性質を理解している。 相似比の意味を理解し、相似比を求めることができる。 合同な図形は、相似な図形で相似比が1:1の特別な場合であることを理解している。 相似の位置にあることの意味を理解し、ある図形と相似の位置にある図形をかくことができる。 相似な図形の辺の長さを、対応する辺の比やとなり合う辺の比が等しいことを使って求めることができる。	ノート テスト
				B(1)イ	図形のある点を中心に拡大する方法や拡大してできる図形の特徴を見だし、説明することができる。	ノート テスト
				主体的に学習に取り組む態度	平面図形の相似の意味を考えようとしている。	ノート 発表 テスト
2 三角形の相似条件	3	三角形の相似条件を理解する。 三角形の相似条件を利用して、2つの三角形が相似かどうかを判断することができる。 三角形の相似条件を利用して、図形の性質を証明することができる。	B(1)ア	三角形の相似条件を理解している。 三角形の相似条件を利用して、2つの三角形が相似かどうかを判断することができる。	ノート テスト	
			B(1)イ	三角形の相似条件を、三角形の合同条件をもとにして考え、説明することができる。 三角形の相似条件を利用して、図形の性質を証明することができる。	ノート テスト	
			主体的に学習に取り組む態度	三角形の相似条件の意味を考えようとしている。 三角形の相似条件を学習に生かそうとしている。	ノート 発表 テスト	
3 相似の利用	3	直接には測定できない距離や高さを、縮図を利用して求めることができる。 測定値の誤差の意味を理解し、真の値の範囲を不等号を使って表すことができる。また、有効数字の意味を理解し、測定値を $a \times 10^n$ の形に表すことができる。	B(1)ア	誤差の意味を理解し、真の値の範囲を不等号を使って表すことができる。 有効数字の意味を理解し、測定値を $a \times 10^n$ の形に表すことができる。	ノート テスト	
			B(1)イ	相似な図形の性質を具体的な場面で活用することができる。	ノート テスト	
			主体的に学習に取り組む態度	図形の相似について学んだことを生活に生かそうとしている。	ノート 発表 テスト	
基本の問題					ノート	
11月	② 平行線と比 1 三角形と比	5	あたえられた手順でノートの罫線が3等分できることを、相似な図形の性質を利用して確かめることができる。 三角形と比の定理を証明し、それを利用して線分の長さを求めることができる。 三角形と比の定理の逆を証明し、それを利用して2つの線分が平行かどうかを判断することができる。 中点連結定理を見だし、それを利用して線分の長さを求めることができる。 中点連結定理を利用して、図形の性質を証明することができる。	B(1)ア	三角形と比の定理を利用して、線分の長さを求めることができる。 三角形と比の定理の逆を利用して、2つの線分が平行かどうかを判断することができる。 中点連結定理を利用して、線分の長さを求めることができる。 長方形やひし形、正方形は、平行四辺形の特別な場合であることを理解している。	ノート テスト
				B(1)イ	相似な図形の性質を具体的な場面で活用することができる。 三角形と比の定理を証明することができる。 三角形と比の定理の逆を証明することができる。 中点連結定理を利用して、図形の性質を証明することができる。	ノート テスト
				主体的に学習に取り組む態度	図形の相似について学んだことを生活に生かそうとしている。 平行線と線分の比についての性質を見いだそうとしている。 図形の相似について学んだことを学習に生かそうとしている。 相似な図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	ノート 発表 テスト

2 平行線と比	2	平行線と比の定理を見だし、それを利用して線分の長さを求めることができる。	B(1)ア	平行線と比の定理を利用して、線分の長さを求めることができる。 平行線と比の定理を利用して、線分の長さをあたえられた比に分けることができる。	ノート テスト
		平行線と比の定理を利用して、図形の性質を証明することができる。	B(1)イ	平行線と比の定理を、三角形と比の定理をもとに見だし、説明することができる。 平行線と比の定理を利用して、図形の性質を証明することができる。	ノート テスト
			主体的に学習に取り組む態度	平行線と線分の比についての性質を見いだそうとしている。平行線と比の定理を学習に生かそうとしている。	ノート 発表 テスト
基本の問題	1				ノート
③相似な図形の面積と体積 1 相似な図形の相似比と面積比	3	相似な三角形について、相似比と面積比の関係を見いだすことができる。	B(1)ア	相似な平面図形の相似比と面積比の関係を理解している。	ノート テスト
		相似な多角形や円について、相似比と面積比の関係を見いだすことができる。	B(1)イ	相似な平面図形の相似比と面積比の関係をみだし、説明することができる。 相似な多角形の相似比と面積比を、多角形を三角形に分けて、対応する三角形の相似比と面積比をもとに考察することができる。 身のまわりにあるものを図形とみなして、相似な平面図形の相似比と面積比の関係をj利用して問題を解決することができる。	ノート テスト
		相似な平面図形の相似比と面積比の関係をj利用して、図形の面積を求めることができる。	主体的に学習に取り組む態度	相似な平面図形の相似比と面積比の関係をj考えようとしている。 相似な平面図形の相似比と面積比の関係をj生活をj生かそうとしている。	ノート 発表 テスト
2 相似な立体の表面積の比や体積比	1	立体の相似の意味を理解し、相似な立体の相似比と表面積の比や体積比のj関係を見いだすことができる。	B(1)ア	立体の相似の意味及び相似な立体の相似比と表面積の比や体積比のj関係をj理解している。	ノート テスト
		相似な立体の相似比と表面積の比や体積比のj関係を利用して、立体の表面積や体積を求めることができる。	B(1)イ	相似な立体の相似比と表面積の比や体積比のj関係を見だし、説明することができる。 身のまわりにあるものをj立体とみなして、相似な立体の相似比と体積比のj関係をj利用して問題を解決することができる。	ノート テスト
			主体的に学習に取り組む態度	相似な立体の相似比と表面積の比や体積比のj関係をj考えようとしている。 相似な立体の相似比と体積比のj関係をj生活をj生かそうとしている。	ノート 発表 テスト
基本の問題 章の問題	2				ノート
6章円周角の定理 ①円周角の定理 1 円周角の定理	4	円周角と中心角のj関係を見いだすことができる。	B(2)ア	円周角と中心角のj関係の意味を理解し、それがj証明できることを知っている。 円周角の定理や直径と円周角の定理を利用して、角の大きさを求めることができる。	ノート テスト
		円周角と中心角のj関係の意味を理解し、それがj証明できることを知る。	B(2)イ	円周角と中心角のj関係を見いだすことができる。 円周角と弧の定理を利用して、図形の性質をj証明することができる。 直径と円周角の定理をj具体的なj場面で活用することができる。	ノート テスト
		直径と円周角の定理を見だし、具体的なj場面で活用することができる。	主体的に学習に取り組む態度	円周角と中心角のj関係を見いだそうとしている。	ノート 発表 テスト
2円周角の定理の逆	1	円周角の定理の逆が成り立つことを知る。	B(2)ア	円周角の定理の逆が成り立つことを知っている。 円周角の定理の逆を利用して、4点が1つの円周上にあるかどうかをj判断することができる。	ノート テスト
			B(2)イ	円周角の定理の逆を利用して、図形の性質をj証明することができる。	ノート テスト
			主体的に学習に取り組む態度	円周角と中心角のj関係を見いだそうとしている。	ノート 発表 テスト
基本の問題	1				ノート
②円周角の定理の利用 1 円周角の定理の利用	3	円周角の定理の逆を利用して、見込む角についての条件をjみやす点的j求め方を考えることができる。	B(2)ア	円外の1点からの接線の作図方法をj理解し、作図することができる。 円外の1点からの接線のj性質を理解している。	ノート テスト
		円周角の定理を利用して、円外の1点からの接線を作図する方法をj考えることができる。	B(2)イ	円周角の定理や円周角の定理の逆をj具体的なj場面で活用することができる。 円周角の定理を利用して、図形の性質を見だし、j証明することができる。	ノート テスト
		円周角の定理を利用して、図形の性質を見だし、j証明することができる。	主体的に学習に取り組む態度	円周角と中心角のj関係についてj学んだことをj生活や学習にj生かそうとしている。 円周角と中心角をj活用したj問題解決のj過程をj振り返って、j検討しようとしている。	ノート 発表 テスト
章の問題	1				ノート

11月

12月

1月	7章三平方の定理 ★ ①三平方の定理 1 三平方の定理	2	直角三角形の各辺を1辺とする3つの正方形の面積の間に成り立つ関係を見いだすことができる。	B(3)ア	三平方の定理を利用して、直角三角形の辺の長さを求めることができる。	ノート テスト			
			三平方の定理の意味を理解し、それが証明できることを知る。	B(3)イ	直角三角形の各辺を1辺とする3つの正方形の面積の間に成り立つ関係を見いだすことができる。 三平方の定理を利用して、直角三角形の辺の長さを求めることができる。	ノート 発表 テスト			
			主体的に学習に取り組む態度		三平方の定理を見いだそうとしている。	ノート 発表 テスト			
	2 三平方の定理の逆	1	三平方の定理の逆が成り立つことを知る。	B(3)ア	三平方の定理の逆を利用して、三角形が直角三角形であるかどうかを判断することができる。	ノート テスト			
				主体的に学習に取り組む態度		三平方の定理を見いだそうとしている。	ノート 発表 テスト		
	基本の問題	1				ノート			
	②三平方の定理の利用 1 三平方の定理の利用	4	三平方の定理を利用して、具体的な場面で求めたい長さを求める方法を考えることができる。	B(3)ア	特別な直角三角形を利用して、直角三角形の辺の長さを求めることができる。	ノート テスト			
			三平方の定理を利用して、正方形の対角線や正三角形の高さなどを求めることができる。	B(3)イ	三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。	ノート 発表 テスト			
			三平方の定理を利用して、平面図形や空間図形のいろいろな長さを求めることができる。	主体的に学習に取り組む態度		三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	ノート 発表 テスト		
	2 いろいろな問題	3	身のまわりの問題を、三平方の定理を利用して解決することができる。	B(3)イ	身のまわりの問題を、三平方の定理を利用して解決することができる。 三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。	ノート テスト			
			三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。	主体的に学習に取り組む態度		三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 三平方の定理を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	ノート 発表 テスト		
	基本の問題 章の問題	2				ノート			
2月	8章標本調査 ①標本調査 1 標本調査	4	身のまわりで行われている調査には全数調査と標本調査があることを知り、標本調査の必要性和意味を理解する。	D(1)ア	全数調査、標本調査の必要性和意味を理解している。 母集団、標本の意味を理解している。 標本調査では、標本を無作為に抽出する必要があることを理解し、乱数さいや乱数表、コンピュータを使って、標本を無作為に抽出することができる。 標本調査を利用して、母集団における割合を推定し、求めたい数量を求めることができる。	ノート テスト			
			簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。				D(1)イ	標本調査が行われる例について、全数調査ではなく標本調査が行われる理由を考え、説明することができる。 簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。	ノート 発表 テスト
			標本調査を利用して、母集団における割合を推定し、求めたい数量を求めることができる。				主体的に学習に取り組む態度	標本調査の必要性和意味を考えようとしている。 標本調査について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	ノート 発表 テスト
3月	2 標本調査の利用	2	標本調査の方法や結果を批判的に考察したり、調査の計画を立てたりすることができる。	D(1)イ	標本調査の方法や結果を批判的に考察したり、調査の計画を立てたりすることができる。	ノート テスト			
				主体的に学習に取り組む態度		標本調査を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	ノート 発表 テスト		
	章の問題	1				ノート			
3年間のまとめ	12								
予備時間	6								